

7/5

商工会青年部 presents 屋上のビアガーデン開催!!



豊頃町商工会青年部（高田大輝部長）による「屋上のビアガーデン」がえる夢館屋上の特設会場で開催されました。商工会青年部が昨年に引き続き企画し、たくさんの町民の皆さんが訪れました。この日は天気曇り模様で途中で雨に見舞われました、ビールやハイボールなどの飲み物、唐揚げやポテトフライなどの食べ物の注文が相次ぎました。また、町教育委員会の協力で、ミニコンサートが今年も開かれ、ビアガーデンの参加者は冷たい飲み物を片手に生演奏やDJの音楽で盛り上がりながら、夏の夜を楽しみました。

7/6

明るく元気に! 茂岩保育所運動会が開催されました



茂岩保育所で運動会が行われました。前日までの雨で屋外での実施が危ぶまれましたが、子どもたちの元気な姿に天気も良くなり、無事に開催することができました。かけっこや遊戯、親子二人三脚、保護者リレーなどが行われ、保護者らの歓声のなか、子どもたちは日ごろの練習の成果を発揮し、競技を楽しんでいました。

7/13

警察による災害救助訓練が行われました



札幌の北海道警察本部警備部機動隊特務中隊の7名が解体工事を予定している旧豊頃中学校で災害救助訓練を行いました。訓練の内容は、倒壊した建物内に閉じ込められた人を救出することを目的とし、床や壁に穴を開けて退避路を確保する救出・救助訓練が行われました。さらに人命救助のタイムリミットと言われる「72時間の壁」を想定し、テントの設置や食事の準備といった長期間の救助活動が必要とされる様々な緊急事態を想定した実践的な訓練が行われました。

7/12

第53回十勝総合畜産共進会で 最高位に選出



十勝農協連家畜共進会場（音更町）で開催された「第53回十勝総合畜産共進会」において、豊頃町から肉用牛の部に9頭1組、種馬の部に1頭が出品されました。このうち篠島太郎さんの牛「ふくひで5」が肉用牛の部（黒毛和種）第24部（生後14か月以上17か月未満の未經産）で優秀賞1席を獲得しました。また最高位決定審査においては、最高位を獲得し、豊頃町から9年ぶりの選出となりました。その他、豊頃町からは優秀賞3席が3頭、4席が1頭、5席が1頭、2等賞が3頭、3等が1頭選出されました。

7/13~16

滑川市姉妹都市締結40周年訪問ツアーが行われました



2日目・歓迎レセプション



2日目・海上花火大会



2日目・西光寺



3日目・黒部ダム



4日目・松本城

富山県滑川市との姉妹都市締結40周年を記念し訪問ツアーが行われました。ツアーは市民との交流及び歴史文化に触れることにより、姉妹都市交流をさらに発展させることを目的としていて、7月13日から16日の3泊4日の期間で訪問団が派遣されました。参加者は町民15名、引率職員2名の計17名で、「ふるさと龍宮まつり」などに参加し、交流が行われました。

ツアー1日目は、役場前で出発式が行われ、按田佳幸団長ほか14名の団員が訪問団として滑川市へと出発しました。2日目は、ツアーのメインとなる滑川市との交流が行われました。滑川市職員の案内で、市内の観光名所や公共施設などを巡り、滑川市の文化や暮らしに触れました。その後、滑川市の水野市長や尾崎議長、柿沢副市長、市職員の皆さまと歓迎レセプションで両市町の交流を深めました。レセプション終了後には開催中の「ふるさと龍宮まつり」フィナーレの花火大会を鑑賞し、滑川市を満喫した1日となりました。3日目は立川黒部アルペンルートを訪れて黒部ダムなどを巡りました。4日目には富山県を離れ、長野県にある「国宝 松本城」を観光し、豊頃町へと帰町しました。

ツアーで団員は、姉妹都市滑川市と交流し、文化に触れ、豊頃町とは異なる景色を目にし、学びのあるツアーとなりました。

7/4

防災協定締結式が行われました



町は浦幌町（井上 亨町長）と十勝災害支援協議会（出村行敬会長）の3者間で『災害時における防災資機材の提供に関する協定』を締結しました。締結した協定は、豊頃町及び浦幌町において、地震、風水害その他の災害が発生した際に両町の町民の生命を守るために、十勝災害支援協議会が保有する防災資機材や食料の提供などといった支援を受けることを目的としています。按田町長は「近年、災害が頻発している。地震や津波がいつ起こるかわからない中で協定を締結できたことは心強い状況である。災害時にはいち早く連絡してお手伝いをお願いしたい」と挨拶していました。

6/26

たそがれソフトボール大会決勝戦が行われました



6月17日から始まった豊頃町たそがれソフトボール大会の決勝が町営ソフトボール場で行われました。準決勝を制して勝ち上がった十勝地域づくり体協と茂岩体協が白熱した接戦を繰り広げました。試合は5対5の同点で終了し、開催要項に則りトス（ジャンケン）により勝敗を決することになりました。互いの選手9人がジャンケンを行い、最後の8人目まで決着がつかみませんでしたが、最終戦の結果、茂岩体協が2年連続優勝しました。優勝チーム MVPには茂岩体協の優勝に貢献した松崎 樹さんが選ばれました。決勝を終え、豊頃町ソフトボール大会の平井勝司大会長は「同点という美しい試合となった。30回目の大会に相応しい試合になったと思います」と閉会式で挨拶していました。